



第2回ロボスポフェスタ in あだち

RFA2026 ロボラリー 競技形式

外部共有版 v1.2 2026年9月20日

本資料について

本書は、RFA2026におけるロボラリーの競技形式及び運営条件を関係者間で共有するための文書です。ゴールの成立条件、マッチプレイの進行、反則、棄権・失格の要件などは競技規則で定めます。受付方法や使用するアプリなど、競技によらない業務は大会共通の運営方針で定めます。

1 競技形式の概要

項目	RFA2026 での設定
参加予定	8チーム
大会構成	予選を行い、上位6チームによる決勝トーナメントを行う
予選のグループ分け	行わない。8チームを一つの順位表で比較する
予選方式	各チームが単独で走行するタイムトライアル
決勝方式	6チームによる勝ち抜きトーナメント。予選1位と2位は準決勝から出場する
最終順位	優勝、準優勝及び同率3位2チームを確定する。3位決定戦は行わない

2 予選

項目	RFA2026 での設定
試技回数	各チーム 3 回
記録	スタートから、そのチームのすべてのロボットがゴールに入るまでの時間
代表記録	3 回のうち最も短いゴールタイム
順位基準	代表記録が短いチームを上位とする
決勝進出	予選順位の上位 6 チーム
順位を確定する範囲	1 位から 8 位まで

予選で使用しない基準 バトンパスの達成度及びバトンパスのタイムは、予選順位の比較基準として使用しません。

3 同タイムの処理

状況	処理
同タイムの全チームについて決勝進出が確定している場合	決勝トーナメントの組合せに使用する予選順位を抽選で決定する
最後の決勝進出枠を 2 チームで争う場合	該当する 2 チームによるマッチプレイで決定する
最後の決勝進出枠を 3 チーム以上で争う場合	抽選により、残る決勝進出チーム及び必要な予選順位を決定する

適用の考え方 同タイムでも決勝進出そのものに影響しない場合は抽選で組合せ上の順位だけを決めます。同タイムによって 6 位の進出者を決める必要がある場合は、該当チーム数に応じてマッチプレイ又は抽選を行います。マッチプレイは通常の予選 3 試技及び決勝トーナメントの試合数には含めません。

4 決勝トーナメント

ラウンド	試合数	フィールド数	同時進行数
準々決勝	2 試合	1 面	1 試合
準決勝	2 試合	1 面	1 試合
決勝	1 試合	1 面	1 試合

4.1 決勝トーナメントの組合せ

試合	組合せ
準々決勝 1	予選 3 位 対 予選 6 位
準々決勝 2	予選 4 位 対 予選 5 位
準決勝 1	予選 2 位 対 準々決勝 1 の勝者
準決勝 2	予選 1 位 対 準々決勝 2 の勝者
決勝	準決勝 1 の勝者 対 準決勝 2 の勝者

試合数 予選 1 位と 2 位は準決勝から出場し、決勝トーナメントで最少 1 試合、最大 2 試合を行います。予選 3 位から 6 位は準々決勝から出場し、最少 1 試合、最大 3 試合を行います。準決勝で敗れた 2 チームを同率 3 位とし、3 位決定戦は行いません。

5 召集と受付

項目	RFA2026 での設定
呼出し	各チームを試合又は試技の開始予定時刻の 20 分前を目安に呼び出す
集合期限	各チームは開始予定時刻の 15 分前までに集合する
集合場所	選手待機場所
受付確認	大会共通の標準的な受付確認に従う
遅刻時の取扱い	大会共通の召集・遅刻対応に従う

運用上の関係 呼出しから集合期限までは 5 分間です。呼出方法や受付確認の具体的な手順は、試合受付マニュアル又は大会共通運営で定めます。

6 時間枠とフィールド

区分	一枠	実施数	同時進行	所要枠及び時間
予選	15 分	24 試技	2 試技	12 枠 180 分
準々決勝	20 分	2 試合	1 試合	2 枠 40 分
準決勝	20 分	2 試合	1 試合	2 枠 40 分
決勝	20 分	1 試合	1 試合	1 枠 20 分

競技枠の算出 通常進行に必要な競技枠は合計 280 分、4 時間 40 分です。フィールドの組替え、同タイム時のマッチプレイ、休憩、遅延吸収、開閉会及び表彰に必要な時間は含みません。

フィールド変更 予選では 2 レーンを使用し、2 チームが同時に試技します。決勝トーナメントでは 1 フィールドを使用し、1 試合ずつ進行します。予選終了後、準々決勝の開始前にフィールドを変更します。具体的な構成と変更時間は、会場設営計画及び時間割で定めます。

7 記録なし及び出場不能時の扱い

状況	競技形式上の扱い
予選の一試技で有効なゴールタイムが得られない	その試技は記録なしとし、ほかの試技で得た有効記録を代表記録の候補とする
予選3試技すべてで有効記録がない	有効記録のあるチームより下位として扱う。該当チームが複数ある場合は同順位を認める
決勝トーナメントで一方のチームが出場できない	相手チームを不戦勝として次のラウンドへ進める

競技規則との関係 記録なし、棄権、失格又は出場不能となる具体的な条件と判定手続は、競技規則で定めます。

8 関連文書との分担

文書	主に定める事項
本書	大会構成、予選試技数、代表記録、進出枠、同タイム処理、トーナメント構成、召集条件、時間枠及びフィールド数
競技規則	ゴールの成立条件、計時方法、マッチプレイの進行と勝敗、記録なし・棄権・失格の要件、反則、安全上の取扱い
大会共通運営方針	呼出方法、受付手順、遅刻時の共通対応、使用するアプリや用紙、結果の公開方法
会場設営計画及び時間割	フィールドの具体的な配置、組替え手順と所要時間、各試技・試合の開始予定時刻、休憩及び遅延吸収

内容の変更 大会準備の進展に伴って本書の内容を変更する場合は、版番号及び基準日を更新した改訂版を関係者へ共有します。